

第6次環境ボランティアプラン 【2017～2020年度】

【3】公害防止・有害化学物質使用削減

領域	項目		2020年度までの 目標・取り組み	2017年度		2018年度 目標・取り組み
				目標	年度実績	
商品	低排出ガス化	◆ 大気環境改善のための低排出ガス車の導入を推進	◇ 日本:WLTPにおける低排出ガス基準認定車を拡大 (SUBARU生産車) 海外:各国、各地域大気環境改善のための低排出ガス車の導入を推進	◇ リアルワールドでの排出ガス抑制のための先行開発。 WLTPベースでの排出ガス規制に向けた量産開発	・ 計画通りに国内WLTP対応に向けた排ガス量産開発が完了	・ 微小粒子物質の排出を抑制するGPF (Gasoline Particulate Filter) 付き車両の仕向地拡大開発を継続していく
	環境負荷物質の使用低減	◆ 環境負荷物質の管理拡充および、さらなる低減を推進	◇ 製品含有化学物質の管理強化 ◇ 環境負荷のより少ない物質への代替推進	◇ 全品番調査体制を整え、管理精度を高める ◇ 環境負荷のより少ない物質への代替を推進	・ IMDS社内システムの機能を拡張し、全品番調査可能な体制整備を実施 ・ 環境負荷のより少ない物質への代替を実施	・ IMDSを用いた化学物質管理の強化 ・ 環境負荷のより少ない物質への代替を推進
生産	生産工場における環境負荷物質の管理と排出削減	自動車 ◆ 自動車生産ラインにおけるVOC(揮発性有機化合物)の排出量原単位 (g/m ³) をさらに削減	◇ VOC排出量原単位を削減する	◇ VOC排出量原単位を削減	・ 生順生産で色替え工数増を踏まえ、年度目標 50.2g/m ³ に設定。シンナー回収率を上げる等削減努力を行い、目標達成	・ 2017年度目標よりも低い原単位を設定し、環境負荷低減に努める
		◆ PRTR法対象化学物質の環境への排出量削減を継続	◇ PRTR法による指定化学物質を把握・管理すると共に、さらなる削減を推進	◇ PRTR法による指定化学物質を把握・管理	・ PRTR物質の集計管理を継続	・ PRTR物質集計管理を継続
		◆ 環境上の構外流出事故・苦情・法基準値超過の発生ゼロを目指した活動を推進	◇ 環境リスク低減活動などを通じて、環境事故・苦情・法基準値超過のゼロを目指した活動を推進 ◇ 上乗せ自主基準値を設定し、小さなリスクの撲滅活動を推進	◇ 環境リスク低減活動などを通じて、環境事故・苦情・法基準値超過のゼロを目指した活動を推進	・ 法規制値超過1件、苦情8件、構内流出事故4件が発生し、対策措置を実施済み	・ 環境リスク低減活動の継続実施 (啓蒙・教育・地域共生)